



今回、うみがめ留学に応募させていただいたきっかけは、一昨年の春に訪れた沖縄の竹富島を訪れた帰りの飛行機の中で、息子が言った「島の学校に通いたい」の一言でした。そこからご縁をいただき、この地での一年の生活が始まりました。

もともとは、「うみがめを見てみたい」、「ロケットの発射を見てみたい」、そして、家族のルーツでもある鹿児島に惹かれたことなど、様々な思いが重なってのスタートでしたが、実際に暮らしてみると、朝は鳥のさえずりで目が覚め、美しい屋久津の夕日に心が洗われ、夜は満天の星空に包まれる毎日で、その一つひとつがかえがえのない感動の連続でした。

一方で、来島後も様々な事情があり、東京へ戻ることも少なくありませんでした。そのような中でも、学校の先生方が臨機応変にご配慮くださり、オンラインでの対応をしていただくなど、学びを止めることなく、過ごすことができましたこと、心から感謝しております。

また、この地でのご縁をきっかけに中種子町の花である月桃を使ったスイーツ販売も始めさせていただきました。地域の魅力に触れながら、新たな形で関わらせていただけることにも、感謝の気持ちでいっぱいです。

学校生活では、少人数だからこそ一人ひとりに多くの役割や表現があり、最初は戸惑いながらも、次第に自分の言葉で伝えることや、自分らしくいられることができるようになっていき、三学期には、学校で自然な姿をだせるようになってきたと感じています。また、先生方の丁寧なご指導のおかげで、学ぶことそのものの楽しさを実感できたことも、大きな変化の一つです。子供達一人ひとりと真剣に向き合う姿からは、多くのことを学ばせていただきました。本当にこの場所には、温かい愛があふれていると感じています。だからこそ、岩岡校区の皆様の子供たちは素直で、元気で、明るく育っているのだと感じています。

この一年をとおして、子どもだけでなく、家族にとっても多くの気づきと成長の機会をいただきました。ここで出会った人たち、経験したこと、その全てがこれからの人生を支える大切な宝物になると思います。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

